

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月15日(月)

事務事業		道路維持管理事業			担当課	道路管理課	担当係	道路・橋りょう維持係	管理番号	48211
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち			事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり			根拠法令 個別計画等	道路法			
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		市道の安全を確保するため、路面や構造物の修繕を行うとともに、排水施設や街路樹の維持管理を行う事業である。								
目的 ※何のために		安全かつ快適に通行できる道路空間を確保するため								
対象 ※誰・何を対象に		市道の舗装、排水施設その他道路施設								
手段 ※どのように		点検、調査、設計、補修等を行う								
成果 ※何を求めるか		道路機能を維持し、事故を未然に防ぐ								
執行体制		☒ 職員 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	8	土木費	2	道路橋りょう費	1	道路維持費	道路維持管理事業	644,862,237
		一般会計	8	土木費	2	道路橋りょう費	1	道路維持費	遊歩道維持管理事業	52,487,401
本事業の 主な業務		・道路維持修繕工事					・道路側溝蓋、穴埋め用合材、切込碎石の購入			
		・道路の緊急修繕					・道路側溝蓋掛け工事			
		・植栽管理業務					・簡易補修			
		・側溝土砂収集運搬処分業務					・凍結防止剤の散布作業			
		・道路パトロール					・資材の調達及び機材の貸出			
		・災害時の復旧対応					・トイレ清掃業務			

2. 事業費(投入コスト) ※令和7年度は決算見込み額です。 単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		道路維持修繕工事 植栽管理・除草業務	道路維持修繕工事 植栽管理・除草業務 高畑地内冠水対策工事	道路維持修繕工事 植栽管理・除草業務	道路維持修繕工事 植栽管理・除草業務	道路維持修繕工事 植栽管理・除草業務	
事業費	予算(現額)	491,937,000	571,027,000	567,865,000	788,937,000	694,847,000	
	決算額	458,166,284	519,545,648	520,188,638	697,349,638	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	62,200,000	71,300,000	110,700,000	83,100,000
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	458,166,284	457,345,648	448,888,638	586,649,638	611,747,000
人件費	従事職員数(人)	6.65	6.32	6.32	5.37	6.32	
	人件費相当試算※	52,332,555	50,624,243	51,964,564	45,521,995	55,669,650	
	総事業費試算	510,498,839	570,169,891	572,153,202	742,871,633	750,516,650	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	舗装修繕工事施工延長	目標値	km	1.10	1.10	1.24	1.48	1.14	1.26	
		実績値		1.50	1.63	1.11	3.09			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		令和4年度以降は深谷市舗装修繕計画に基づき老朽化路線を定め目標値を設定している。							
	実績値の算出式									
成果指標 1	道路維持管理上の事故件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		実績値		2.00	3.00	3.00	2.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		管理上の事故は、常に発生しないようにしている。 / 申請された件数							
	実績値の算出式									
成果指標 2	道路維持管理上の苦情件数	目標値	件	863.00	845.00	828.00	811.00	794.00	778.00	
		実績値		899.00	897.00	1,243.00	1,231.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		R3年度より2%程度の削減目標としている。 / 当該年度実績							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	舗装修繕工事延長については前年度からの繰越工事(L=450m)も含め、目標を達成することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	道路管理上事故件数及び苦情件数は目標に達しなかった。苦情は舗装の老朽化に係るものや道路排水等の道路管理全般のほか、除草等の苦情が多い。また、他市での道路陥没事故により、市民意識が高まったことにより、道路上の亀裂や舗装の剥がれなど、地域の細部についても要望が寄せられたことで目標達成には至らなかったものの、ほぼ全ての案件に迅速に対応できた。
			評価者 道路・橋りょう維持係 秋山 隆之

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	道路環境に関して市民から寄せられる苦情内容は、ニュース等で報じられる事故等の影響により年々着目点が悪くなり、細かな点も通報を受ける状況となっている。こうした苦情に対して、あらかじめ保有する資機材を用いて1件ずつ丁寧に対応しているものの、道路管理瑕疵案件を0件にすることができなかった。事故や破損を未然に防ぐため、効率的な道路の維持管理を行っていくことで苦情件数や道路管理瑕疵案件の減少を目指す。
			評価者 道路・橋りょう維持係 秋山 隆之